



中华人民共和国

派遣期間 2012年4月～2015年3月

shanghai ribenren xuexiao hongqiao xiao

## 上海日本人学校虹橋校 帰国報告

～ PISA 世界一！教育都市上海 ～

室蘭市立みなと小学校

教諭 鹿野 智雄

### 1. 中華人民共和国（上海市）について

中華人民共和国は、22省の行政区・5自治区・4直轄市・2特別行政区からなる国である。今日、政治的に分離実態のある台湾（中華民国）の領有も主張しており、その陸地面積は世界第3位とも言われ、砂漠から多湿な亜熱帯の森林までを保有する多様で広大な国土である。人口は、世界一（14億人）であり、国民は漢民族を筆頭に55の小民族で構成されている。政治拠点は北京であり、標準語は“北京語”、標準時間は“北京時間”で全土を統一している。

古代文明から今日までの4500年間には、大小いくつかの王朝（世襲による君主制）が“拡大・破壊・復興”を繰り返していた歴史が分かりやすく大部分を占める。しかし、中華民国（1911年・辛亥革命）が、清王朝を滅ぼし1949年までには中国大陸の統治に成功したことを皮切りに、第二次大戦以降は、共産党が国民党を破り以下の構造となっている。

① 国民党： 中華民国政府を台北市に移転。

② 共産党： 中華人民共和国政府を北京に設立。

現在の中国は、共産党の1党独裁政権

日本を追い抜いた、GDP世界第2位の経済大国へと成長した中国は、世界最大の輸出入国である。中国人観光客の“爆買い”報道で分かるように、その購買能力も世界第2位を占めている。

上海市（4直轄市の1市）は、2,500万人強（人口世界一）が生活する国際都市で、常住人口では首都北京を凌ぎ国内随一である。街の略称は漁具を意味する『沪』。古くは、長江デルタの河口南岸に位置する小さな漁村だった。街が大きく発展したのは、1842年アヘン戦争終結（南京条約）時。条約港開港により、租界区（イギリス・フランス・日本・アメリカ）が形成された。1930年代には中国最大の都市へと成長している。街並みは、現在も大きく様変わりしている。



ひしめき合っ暮す街“上海市”の人々には…

戸籍に問題があり、人口問題を抱える中国には移住制限がある。農村・地方都市の人々が、自由に大都市には移住できない。上海は、最も厳しい戸籍政策を強いていることで名高い。（下記参照）

① 親が上海戸籍を有する。⇒ 出産時に15～数十万円の援助金（社会保険局）を支給。

② 上海戸籍を有す子ども。⇒ 優先的に進学できる。（幼小中）

③ 上海戸籍がない子ども。⇒ 市内の大学受験に参加できない。

その他、戸籍のない人々も数多く存在し、人権に問題がある状態である。

上海市は、日本の佐多岬（鹿児島）とほぼ同じ緯度に位置し、南東貿易風帯の気候で、四季がはっきりしている。夏と冬が長く、春と秋が短いのが特徴。そのため春を迎える喜びは大きく、中国の人々は、春の始まりを告げる旧正月（春節）を心から喜んで迎える。  
 ◇夏⇒南東風が強く（太平洋高気圧の影響）高温多湿。  
 ◇冬⇒北西風が強く、空気も乾燥して冷たい。足元から冷え込む寒さは身にこたえる。

（シベリア・モンゴル方面にある高気圧の影響）



## 2. 上海日本人学校虹橋校と浦東校 … その特色

上海日本人学校は、1987年に設立された、在上海日本人のための学校。現在は、虹橋校と浦東校の2施設あり、同一校として上海市が認可している。児童生徒数の増加に対応し新設された浦東校は、2006年に虹橋校から分離し、浦東地区（国際空港より）で初等・中等・高等教育を行っている。

<H18 2校体制スタート時>

虹橋校；小学部のみ48学級でスタート。（H21より、特別支援学級“虹の子”を新設。）

浦東校；小学部17学級，中学部15学級，計32学級でスタート。

<H27 4月時点>

① 虹橋校： 初等教育のみ。（児童数／1,301名・47学級） … H27.4時点

② 浦東校： 初・中・高等教育の一貫校（児童／757名，中等部／621名，高等部／124名）

虹橋校は、浦西地区（黄河を隔て東西に大分し、西側の市内中心部）に位置する日本人の小学校。派遣当初の児童数は1600名に迫る勢いで、職員も100名規模であった。



### [虹橋校の概要]

- 本校の前身は、「上海補習校」 … 日中国交正常化3年後に発足(S50.2.7)。
  - ☞ 当初は週一回の授業。間もなく全日制の補習校になる。
- 「日本人学校」 … S62年に正式設立。本年度で28年目となる。
  - ☞ 校舎建設（H18.6）以前は、会社の一部や現地の小学校を借りていた。
  - ☞ 建設以降、児童・生徒数の急増に伴って校舎は増築され、下記のようなになる。

### 【虹橋校は、全室空調完備 ～1年を通して快適環境～】

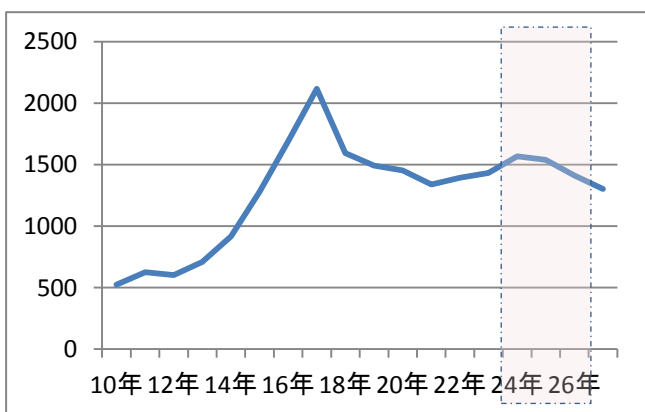
2階建ての南校舎；事務室・保健室・職員室・校長室・支援学級・1 & 2年生教室など  
3階建ての北校舎；図工室・音楽室・家庭科室・PC室・理科室・2 & 3年生教室など  
第一体育館；儀式、全校集会などはここで行う。（ギャラリー完備）  
東校舎；4年生以上の教室、音楽室、図工室・2F/室内プール、4F/第二体育館など

### 【虹橋校の児童推移】

- 平成10年度；児童生徒数 524 名。
- 平成14年度；約 1.5 倍へと膨れ上がる。
- 平成17年度；2,116 名。一気に 2,000 名の  
大台を突破し激増した。
- その後は減少傾向が続き、最近では私の派遣初  
年が児童数最多で 1,568 名だった。

以前は…

- 中国政治情勢の安定や積極的な開放政策，WT  
O加盟などによって外国企業の投資環境が改善。
  - 上海万博開催へ向けたインフラの整備が急ピッチで進められ“中国特需”と呼ばれた。
  - 元来，上海は商業や経済のほか，ファッションなどの流行の最先端を行く街としても有名。
  - 地理的にも日本に最も近い街である。
- ☆児童生徒の急増は … 利便性から日本企業や日本人の進出が顕著で，在留邦人増加の一途をたどった。



最近の傾向…

- 日系企業の生産&販売基盤をアジア南部のタイなどにシフトした。
  - 国内の環境汚染（pm2.5）が深刻で，健康問題が提唱される。
  - 生活物価の高騰などで，帯同家族の早期帰国者などが増えている。
- ☆これらが児童数の減少傾向の要因になりだしている。



### 【虹橋校の教育】

- 文部科学省学習指導要領に準拠した“初等普通教育”を施すことが目的。
- 語学教育“中国語会話&英会話”を全学年で実施。毎朝「イングリッシュタイム」（10分間）を設け，日常的な活動により英語に触れる機会をつくっている。
- “現地及び国際交流学习”（学年単位）を実施。「総合的な学習」を「上海タイム」と呼び，現地校との交流，各種の体験，見学活動など，中国あるいは上海でしか経験できないような活動を行っている。学習活動は，“中国理解，日本理解，国際理解，自己理解，人間理解”を念頭に展開し，その深まりや広がりを探っている。
- 自主制作副読本「上海」を活用した，社会科学習などの授業を行っている。
- 「朝の読書」（10分間）を設定し，その在り方を工夫し充実を図っている。
- 「スキルアップタイム」（10分間）の時間を設け，個に応じた指導や基礎・基本の充実，応用力の育成などを目的に，学年の創意と工夫で実施している。



- “チャレンジタイム”（学年毎）は、学級PTAが主導（通訳なども）で行う年間1回の学習で、中国の歴史や文化に触れて体験的な活動が行えるようゲストを招く。毎年工夫を凝らし実施していた。

### 【通学】

- 児童の登下校は、平成13年度より自主登校制になり、遠い子どもで1時間ほどかけて市内各地から集まっている。
  - ☞ 大多数の児童生徒： 公寓所有の大型専用バス，自家用車，タクシー等を利用。
- 昨年12月末に“上海市交通局から異例の通達があり…”（中国は猶予などありません!!）⇒ 通達の翌日から“校車化”以外認められなくなった。そのため、通学困難な子どもなどが続出し、2学期末から修了式を迎えるまでの期間は、大変な登下校対応を強いられた。
- 今年度（H27）から、校車化（スクールバス）がスタート。学校の所有が難しく公の商用バスを貸切。認定された運転手&バスマザーをセットにした“契約校車”の運用。



### 3. 心と心をつなぎ合わせるために

上海の在住邦人は推定5万人。企業の駐在員は、主に東京近郊，関西方面からの赴任が多い。日本人学校在籍児童は全員が転入生で、そのほとんどが平均4年間ほどの海外生活を計画して帰国の途に就く。（時折、中国で生まれ育ち長期的に滞在し、都市間の移動を重ねている子どもも稀に見られる。）

#### <本校児童の特長>

- 学力が高く、どの子どもも学ぶ意欲に満ちている。
- 素直で、言葉の乱れが感じられない。（日本のテレビ番組を自在に視聴できる環境だが、テレビを長時間視聴の傾向が無く、流行語には無頓着。通信ゲーム遊びを楽しむ声は、良く聞こえていた。）
- 毎日、習い事。（駿台・ケイセツなどの学習塾，英会話，ピアノ，ヴァイオリン，空手，剣道，中国語，習字，水泳，サッカー，野球…と日本並みに豊富で、個によるが、日に4種通ったりしていた。）

#### <保護者のニーズ>

- ☆大きくは、帰国子女になる“我が子”が、帰国後スムーズに適應できる子どもに育つことを願う。
- ☆毎日、楽しみをもって学校に足を運んでほしい願い。
- 日本国内同様の“正しい言語能力”（日本語の読み書き）をつけてほしい願い。
- 日本国内同レベルの“学力を維持”してほしい願い。

日本人学校には、病気で休まず健康な子どもが大半である。個々に目標をもって熱心に学習する姿は、親子で共通し、日本国内の子どもたちよりも“強いやる気”を感じる。とにかく一生懸命な子どもに 欠けているもの は何か？

～ 連携あるいは協力し合うこと，心と心を通わせること…～  
 学級の子どもたちは、良い子どもたちばかりである。しかし、横のつながりがあまりに希薄で、国内の子ども達に感じたことのない、仲間意識の乏しさを実感した。自己実現には、競争（他



者との比較)は必要がないと誇示するように感じた。

[初年の学級目標]

『一人一人の高い力 ≠ クラスなどの連帯』… 学習能力が高く、ちょっとの努力でしたいことが何でも適う“虹橋っ子”です。しかし、自分を高めることに夢中になり過ぎて、“周辺の友達と共に成し遂げる”ことに意識がはたらかない。協調性が欠けていることに気がついた。

### 大陸で生活する日本人は傍目を気にしない!?

特に競争心を感じない子ども集団です。しかし、能力は高く、下校後にも3~5種の習い事をかけもちなど、現地“上海っ子”と同レベルの煩雑さ。自分のことで精いっぱいになるのも理解出来そうな生活実態である。そこで、係活動を活性化し、自治的な集団遊びに取り組ませるなど、“心と心をつなぐ”学習計画実行した。



[児童作成：クラス旗]

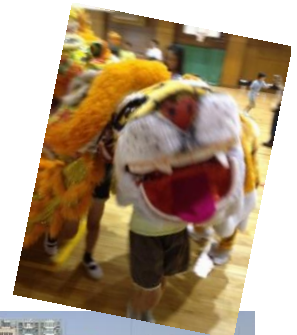


[3年生児童による“お楽しみ会”]

“仲良くなること”は万人の願いである。特に約束を破る姿のない虹橋っ子は、何をやっても最善を目指して根気よく取り組む。担任が自治的な活動のよさを案内し、確かめた子ども達が目標に向けて学級会議を行い活動がスタートする。力のある子どもたちですから、様々なアイデアが飛び出し担任の願い以上の学習活動が進められていく。よく話し合うことが友達の理解活動となり、心と心を確認合いながら“自分の教室が一番良いところ”と思いが一か所に集まってくる。

[変化し大きく変わる部分]

- いつも笑顔で、進んであいさつする子どもであふれてくる。
- 友達の話を最後まで聴き、自らの意見を伝える姿がふえ、目標の共有ができる。
- 思いやりの心が育った分だけ、自学級以外の子どもたちを巻き込んで遊びを提案し、楽しめるようになった。



～人間教育として、全人的な取組が適う環境!!～



[運動会前；おどりリーダー選手権]

どんな学習にも夢中になれる虹橋っ子。  
 教室中の笑顔に囲まれて、授業中・休み時間を問わず、友達のよさを知り高め合うように変容した。特に、本帰国する児童を送る“お楽しみ会”の、手紙発表で、  
 「僕が帰ったら、また会えるね。」(送別する側)  
 「わたしも必ず遊びに行くね。」(送別される側)  
 「先生、また会おうね。」(全員)  
 など、心が一つになったことが感じられた。  
 心のきれいな子ども達が帰国後、生き生きとリーダーシップをとって活躍することが私の願いである。

<虹橋校の特色ある活動から>

8:10~8:30	読書タイム					
8:30~8:50	朝の学級活動					
8:50~9:00	イングリッシュタイム					
9:00~9:15	1	国語	国語(図書)	国語	社会	中国語
9:15~9:30	移動・トイレ休けい					
9:30~9:40	2	算数	英語	算数	体育	算数
9:40~10:05	ふれあいの時間					
10:05~10:50	3	体育	理科	図工	音楽	A/B 理/国
10:50~11:05	移動・トイレ休けい					
11:05~11:45	4	上海タイム	理科	図工	算数	国語
11:45~12:30	昼食時間					
12:30~13:00	昼休み					
13:00~13:25	準備					
13:25~13:45	5	音楽	算数	体育	書写	社会
13:45~14:35	6	道とく	学活			
14:35~14:45	準備の空					
14:45~15:30	スキルタイム					
15:30~15:45	準備の空					
15:45~16:00	準備の空					
下校時刻	14:45	16:00	14:45	16:00	14:45	
バス発車	14:55	18:10	14:55	18:10	14:55	

[3年生の時間割]

<<虹橋校の“HOT な!!” 1日>>

- ・職員集合 ⇒ 7:30 毎朝、主任主導で職朝実施
- ・児童登校 ⇒ 7:30 以降随時 (7:45~8:00 がピーク)
- ・専科教員の配置 ⇒ 音楽、理科、英語、中国語 <移動教室>
- ・ふれあいタイムは、児童とのコミュニケーションを図る。
- ・昼食 ⇒ 毎日が弁当である。<交流ランチなどを企画運営>
- ・清掃 ⇒ 昼休み直後に全校一斉実施。<下校バス対応>
- ・下校 ⇒ 14:45 or 16:00 のいずれかである。  
(日常、低学年も 14:45 まで。一部 16:00 まで。)
- ・学年打合せは毎週水曜日 (主任が運営) に実施。勤務時間を考えず、児童のために遅くまで協議することが多い。
- ・帰宅は“最終 21:00” を目標にしていたが…。



ステージ上のプロジェクターを駆使し、1500名の児童に訴えかける“児童集会”。写真は、夏に危惧する“熱中症”の寸劇で、舞台袖から出番を待つ保健委員会児童。スクリーンでは、事前に編集した“妖怪ウォッチ”の替え歌&体操を上映しながら、その前で一緒になって歌って踊る演出。どの子も1500名の前に、“大勢”には慣れきって堂々と発表できる。

右の写真は“英語活動”の様子。カナダ人のALT主導で、週1度の子ども達が楽しい時間。全学年が学年別に、能力別クラスに分れて活動する。本校は、基本的に英語のヒヤリングが堪能な児童集団。学級設置のPCを駆使して映像投影が日常の授業スタイル。歌を歌ったり、クイズに答えたり、会話を楽し



んだり豊かな教材環境で学習が進んでいた。



日本の文化にふれる“阿倍仲麻呂週間”。中国に関わりのある阿倍仲麻呂。虹橋校の子ども達にも日中の架け橋へと育ててほしいと願いを込め、毎年設定している。“五色百人一首”を使い分けて写真の様に大会を実施。（読み手は、PCランダム再生。）学級児童を“序二段～横綱”級の能力に分けてから、9学級で能力別学級対抗“かるた大会”を実施。学年で大変盛り上がりがあり、休み時間の自主練習を楽しむ姿が増え、かるたをとるスピードも日増しに速くなっていた。



左は“中国語”の様子。中国人講師主導の週1度の学習活動。実は…、英語よりも好きな子どもたちが多い。（推測…生活で日常的にふれる言語だから。）四声に苦しむのは担任。子ども達は理解吸収がはやく、自在に発音しながら楽しく学習できる。写真は、学習児童を二分し、食べ物の“早当てリレーゲーム”に興じる様子。中国語を聴いて抵抗感を示す子どもは“日本から転入直後の子”に限るが、すぐに慣れ親しみ楽しめていた。

（能力別学習；初級・中級・上級）



虹橋校には2つの図書館施設がある。日本語蔵書はふんだんだが、中国国内では購入できないため、破損&紛失には神経を尖らせる。（貸し出し袋を必ず使用。長期休業では旅行先に持たせない。※一時帰国は、日本に持ち帰れない。）日常、PTAボランティアが運営して下さる。週に1時間（学級裁量時間）は、読書の時間を設ける。写真は、PTAの“読み聞かせ”である。どの子もしっかりと読み手に集中し、事後は挙手して、感想発表を行っている。



上海市内の現地校と“交流学习”を実施。相互に発表交換をしたり、日本の昔遊びを教えて共に楽しんだりする。本校が打診し、応じてもらう形で継続している学習で、以前は相互訪問ができた。しかし、現在は虹橋校がベースである。大気汚染が深刻になり、活動制限を設けたため。上海市教育委員会の基準よりも、虹橋校の基準の縛りが強い。そのため、友好学習をより実施できるのが本校施設となった。



[照片是上海日本人学校和上海实验学校]

[发表是小苹果]



毎年1回のチャレンジタイム(P T A主催)は、保護者が連携して発掘してくださる中国文化に触れるための学習。その内容も新鮮であり、恒例の内容はない。獅子舞は、ウィンクしたり棒を上ったりと機能性に富む。

中央は、音楽と舞踊の学習から。音楽も着物も日本とは違う…。



[獅子舞, 跳舞, 投坛]

右は、矢を投げ入れる昔の遊び。簡単なようですが、意外に難しかった。



#### 4. 上海の姿



巨大都市上海。ここ上海市の人々は“親日”で友好的。日本語表記は見



当たらないが、店員などが気さくに“ニホンカラ?”など片言でコミュニケーションを図ってくる。夏は高温多湿で、体力を奪われる。また、日本の6倍以上と言われる強い紫外線量も、皮膚や視力に影響を与える恐れがある。景色が大変素晴らしく、昼間の街中や外灘などは

気持ちを解放してくれる。安全な街“上海”。旅行情報には“軽微な犯罪”の表記を見るが、実際に被害にあったことはない。(3年間の記憶 ⇒ 住み易い街だった。)

##### <見方を示して>

◇食生活◇ 日本とは基準の違う農薬などに警戒感があり気軽に購入できず安心できなかった。(Sマークなども信用できなかった。)野菜など豊富に売られているが、結果として、日本製品などの購入に走った。しかし、生産表示が中国国内など、どれも同じだったように思う。

水道水の飲用厳禁。饮水机を常設し、飲料水を買う。主原料はどこなのか??

◇散髪◇ 中国ではシャンプーから始まる。着座姿勢で頭上にシャンプーが落ちてくる。頭全体が泡だったら場所移動。今度は仰向けシートに寝る。洗い終わったら、また、先ほどの席に移動する。大雑把なハサミ使いでカッティングし、ドライヤーで髪を飛ばす。また、洗髪。最後はドライヤーで乾かして、さりげなく終了。(35元…円換算は、×20)

◇公共バス◇ 市外へ向かう長距離バスなどを除けば、2円で乗車でき格安感が良い。バス停では整列しないことが多く乗車口に殺到する。中国人は老若男女問わず相席が常識。通勤時間は地獄の混雑具合で、通路は4~5列で重なって“おしくらまんじゅう”状態。チカンなど発想さえしないと思う。~降車は、ブザーはなく、走行中に降り口まで移動が原則~



- ◇住 宅◇ 日本人が 40%入居していることが条件で，自主選択する。（住宅手当の額による。）  
常時，門衛がおり玄関には電子ロックが備えられている。（どこの扉にも高圧電線あり。）
- ◇交 通◇ 「上海で運転できれば世界どこでも通用する腕前!？」と，教出租车的司机。（危険です。）

